

成田 由香子 (ナリタ ユカコ)

認定 NPO 法人 ACE (エース) 子ども支援事業チーフ インド・プロジェクトマネージャー

福島県出身。宇都宮大学国際学部国際社会学科卒業。インドのタタ社会科学研究所ソーシャルワーク修士課程修了、インド NGO でのフィールドワークを経験。労働組合 UI ゼンセン同盟 (現 UA ゼンセン) 国際局勤務、在印日本大使館での草の根・人間の安全保障無償資金協力外部委嘱員勤務を経て、2007年5月より現職。インドを中心に児童労働をなくし子どもの権利回復をめざす現地プロジェクトの立案・実施管理を行う他、日本での啓発活動やソーシャルビジネスの推進等を行う。



経歴・略歴

2000年3月	国立宇都宮大学 国際学部 国際社会学科 卒業
2002年5月	Tata Institute of Social Sciences(タタ社会科学研究所、インド・ムンバイ) ソーシャルワーク (家族・児童福祉専攻) 修士課程修了。その間 Childline India Foundation、Saathi など現地 NGO での子ども権利保護に関わるフィールドワークを経験。2001年インド西部グジャラート州大地震での被災地救援活動に参加。国際協力銀行(JBIC)ニューデリー駐在員事務所での短期インターンを経験。
2002年7月～2014年	国際開発学会 会員
2002年10月	トータル・カウンセリング・スクール カウンセラー養成講座初級コース修了
2002年10月～2005年2月	UI ゼンセン同盟(全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟)国際局 勤務
2003年3月～現在	NPO 働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン(OLAL)日本事務局を設立・運営に関わる
2003年4月	第52回 日本労使関係研究協会 東京労働大学講座総合講座課程 修了
2003年10月	第8回 国際労働財団(JILAF) 国際活動家養成コース 修了
2004年	特定非営利活動法人 子ども権利センター(現 C-Rights) 運営員
2004年7月	第13回 国際自由労連アジア・太平洋地域組織(ICFTU-APRO)/OTC Institute/国際労働財団(JILAF)上級指導者コース修了
2005年7月～2007年3月	在印日本大使館 草の根・人間の安全保障無償資金協力外部委嘱員として勤務
2007年5月～現在	特定非営利活動法人 ACE に勤務

執筆・研究

執筆（書籍、出版物、記事）：

- 「国際開発ハンドブック—NGO のフィールドメソッド」友松篤信編著（部分執筆）『ストリートチルドレン支援のネットワーキング』、明石書店、2005年
- ”Japan Calling”, ‘Eight Japan Aided Grassroots Projects Launched’, Embassy of Japan in India, January, 2006（英文）
- 「月刊オルタ」特集アジア発子どもたちの社会運動『主体性を回復する子どもたち』、アジア太平洋資料センター(PARC)、2006年7月
- 「ふたり★おなじ星のうえて」谷川俊太郎著、（一部執筆協力）、東京書籍、2007年4月
- 外務省ホームページ「ODA メールマガジン第100号」『インドの草の根活動』、2006年10月

研究：

- 学士論文 「インドの初等教育におけるノンフォーマル教育」、2000年
- 修士研究論文 "Mental Health of Street Children", February, 2002.（英文）

講演テーマ

- ◇ コットン産業における児童労働と取り組み
（ワークショップ「このTシャツはどこからくるの？」も可能）
- ◇ ファッションと児童労働、企業と消費者の役割
- ◇ 子どもの人権と児童労働
- ◇ インドにおける児童労働
- ◇ 児童労働と教育
- ◇ 国際協力NGOによる現地プロジェクトの実施方法と現場
- ◇ 国際協力プロジェクトでのソーシャルワーク、子どもの権利アプローチ 他

以上